

## 平成 27 年度 北筑後地区高齢者相互支援リーダー研修会 開催

平成 27 年 7 月 23 日（木）大刀洗ドリームセンター 2 階展示ホールにて北筑後地区「高齢者相互支援リーダー研修会」が開催されました。今回の北筑後地区の支援活動員のリーダーの方々が 121 名参加されました。

研修内容は単位クラブ新任会長研修会と同様、福岡県消費生活センターから「悪質商法」「二重電話詐欺」について注意喚起を含めた内容のお話をいただきました。福岡県は昨年と比較して 2 倍を超える被害額ということで、機会あるごとにお話をいただいています。とにかく皆さん気をつけてください。「電話でお金の話は全て詐欺！」と思ってください！その後、福岡県高齢者地域包括ケア推進課より「高齢者の福祉について」ということで県の施策等をお話いただきました。

休憩を挟み、福岡県老人クラブ連合会事務局より「高齢者相互支援活動」について、活動の始まりや今までの経緯、そして活動について等を説明させていただきました。



午後の部は久留米市老連の坂本勝己副会長さんに座長を務めていただき、支援活動員として活動されているお二人の方に事例発表をしていただきました。

参考になればと内容についてまとめました。

お一人目は 筑後市の中島武子女性部長さんよりご自身の所属される「久富老人クラブの取り組みについて」ということで発表は以下の内容です。

最初に久富地区の紹介をします。久富地区では「県指定民族無形文化財【盆網曳き】」があり、毎年お盆の 8 月 14 日に小学 1 年生から小学 6 年生までの男の子供達 60 名余りで伝統ある(370 年前より)【盆網曳き】を行います。全身にススを塗り、頭にはワラで編んだ角を付け、腰には腰蓑（ワラで編んだもの）をつけます。

この盆網曳きは観音堂信仰に基づく「施餓鬼」行事である。不幸にして成仏できずに死んだ気の毒な亡者をお盆の一日だけでも地上に引き上げ極楽浄土に招き、食べ物等を与えてやろうという慈悲の供養である。この行事は地域主催で老人クラブも参加し地域と共働した活動となっている。

久富地区の相互支援活動の紹介をします。

地域デイサービス（久富デイサービス）を平成 7 年から現在まで 20 年間、見守り事業のひとつとして公民館を拠点に行っている。

活動日は毎月二回、第一、第三木曜日です。利用者は老人クラブ（第一、第二、第三長寿会）の会員であり、その他から



も仲間として参加してもらっている。協力員（お世話係）は3つの各単位クラブの役員さんに協力してもらっている。

資金源は「行政区」「校区福祉会」「筑后市」からの補助を受けて実施しており、参加する会員さんも参加費（お昼代）として300円をいただいている。

内容については、9時よりスタートで、健康チェック、レクリエーション（手作りの魚釣りゲーム・室内ミニグラウンドゴルフ玉入れ等）、体操（グループホームの職員の方が支援して下さる）、昼食、趣味の時間（季節に合った折り紙、ちぎり絵、絵手紙等）、お茶の時間 などなどで15時解散とのこと。

その後は協力員さんで片付けの後、次の活動につなげるためにも必ず反省会をしている。

以上が中島女性部長さんの発表内容でした。

370年も続いている「盆網曳き」は地域文化伝承・三世代交流にも繋がっているのので、これからもずっと継承して欲しいなと思います。

またお宅に伺って、安否確認・生活支援・話し相手等の見守り活動を各単位クラブや校区老連で行っていますが、外にできるきっかけ作りとして、地域デイサービスを実施しているとのこと。それも20年間も続いているというのは、やはり次世代へのバトンタッチが上手くされているからだと思います。

今回の資料には、活動の様子等が掲載されていなかったのが残念ですが、また別の機会に紹介させていただきたいと思います。



お二人目は 小都市老連三国校区 武富泰子女性部長さんより「三国校区老連 女性部の地域活動について」という題名で発表していただきました。発表は以下の内容です。

最初に所属している新島単位老人クラブの活動紹介をします。

新島単位老人クラブは三国校区の中でも一番小さなクラブで45名の会員で活動している。

小さなクラブだからか!? 皆さんとても仲が良く、わざわざ「こんにちは! お元気ですか?」などと訪問する必要性が無いほどコミュニケーションが取れている。

隣近所が毎日何らかの声掛けをしたり、おかずの交換をしたり、遠くに出かけるときは、お隣にひとこと言って留守にするといったようなお付き合いをしている。

次に校区としての活動紹介をします。三国校区老人クラブ連合会女性部は主に3つの活動をしている。

まず1番目に伝統あるサークル活動。月2回校区公民館にて「踊りとダンス」のお稽古をしています。サークルメンバーの一人が指導して下さいます。炭坑節・小郡音頭・博多まつり歌・きよしのズンドコ節などメニューも豊富です。またタンゴ・ルンバ・ワルツなどダンスも踊ります。おけいこの後は、お茶とおやつタイム。

練習の成果を発表する場も年2回あり、励みになっています。

私の話を聞くと元気な人ばかりのように感じられるかもしれませんが、参加者は杖をついた方、腰の曲がった方、送迎付きの方もおられます。その方たちは椅子に掛けた状態で踊り、自分に合ったスタイルで楽しんでおられます。

お稽古を休んだ方へも電話をしたり訪問したりと安否確認は欠かしません。

二番目の活動は講演会です。テーマは問題になったことや話題になったこと等をピックアップします。特に今年は「振

り込め詐欺」について警察や市役所の方々からお話していただきました。あと火災予防や高齢者にありがちな誤飲、転倒等についても講義していただき、身近な人たちが被害に合わないよう、注意喚起しています。

三番目は女性の料理教室です。今年は趣向を変えて「桜もちとイチゴ大福」に挑戦しました。そのお菓子をお供に茶話会をして楽しい時間を過ごしました。

活動を行っていく中で、活動の中心は参加者です。参加して下さる方々が色々な活動の核となってくれます。元気な人達が元気を分け与えるような心意気で、隣近所見学隊・援護隊となつていただきたくて、毎日二言、三言でもいいから人と会話を楽しめる三国校区になることを願っています。この理想に向かって努力していきたいと思います。以上が武富女性部長さんの発表内容でした。

見守り活動は、ただ声掛けだけではなく、見守る人も見守られる人も対等に一緒に活動しながら楽しむことが一番だなと思いました。「向こう三軒両隣」。昔は支え合いの精神はごくごく当たり前のことでしたが、今は都会になればなるほどこういう関係はありませんよね～。私が子供のころもお隣のおばちゃんがおかずを沢山作ったから食べて一と持ってきてくれていたなと思い出しながら、お話を聞いていました。そういう昔の良き時代の支え合いの精神が残っている三国校区、いいですね～。



参加の皆さんより質問等もあり、盛会のうちに終了しました。今後は様々な場面で支援活動員の活動が地域を支えていくことになると思います。今後のヒントになれば幸いです

座長の坂本副会長さん、事例発表をされました中島女性部長さん、武富女性部長さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

この高齢者相互支援リーダー研修会は地区毎の研修会であるため、活動内容についても地域の特色等もあります。

他の地区研修会の内容をご紹介することで、少しでも高齢者相互支援(愛の一声運動)のお役に立てればと思います。

今回の北筑後地区高齢者相互支援リーダー研修会が今年度分の最後の会場でした。

皆さんの活動の様子を発表いただいて、参考になるお話がたくさんありました。

事務局で内容をまとめて、ホームページで紹介させていただきましたが、まだまだ纏めきれなかった部分のお話もあったと思います。いい内容を発表された皆さん、役不足で申し訳ありませんでした。

現在、相互支援活動の実施要領は『**高齢者ネットワーク推進事業(愛の一声・友愛訪問事業)**』となっていますが、私は個人的に『**愛の一声**』という響きが好きです。活動内容に活動名なんて関係ないと思いますが、『愛の一声』って何となく気持ちがかもっているように感じるのは私だけでしょうか 苦笑

今後とも支え合いの精神で見守り活動をよろしく願いいたします。

各地区で色々とお世話をいただきました皆様、ありがとうございました。